

tane CREATIVE(422A)

セキュリティ対策を徹底したWeb制作・保守管理。地域IT人材を雇用。セキュリティ意識の高まりが追い風
TOKYO PRO Market | IT サービス | 会社紹介

ポイント

- セキュアなWebサイト制作とセキュリティ保守管理を事業展開。両サービスともにセキュリティ対策を徹底することで競合優位性を築く。
- 佐渡島を中心とする地域IT人材を雇用することによりIT人材を確保し、地域社会に貢献。顧客企業は主に首都圏の大企業、金融機関など。
- セキュリティ対策は迅速な情報共有が難しいため生成AIが苦手とする分野。同社のナレッジが活かされやすい。リモートワーク普及も追い風。

同社の事業について

セキュアなWebサイト制作（主に開発部が担当）およびセキュリティ保守管理（主に制作・運営部が担当）事業を展開する同社の2025/3通期の事業部別売上構成比は、①開発部が31%、②制作・運営部が68%を占める。特長・強みとして以下の点が挙げられる。

第1に、セキュリティ対策を徹底することで競合優位性を築いている点である。一般的なWeb制作会社のWeb制作サービスには高度なセキュリティ設計・実装は含まれない。また、同社は保守管理サービスにおいても一定の事務処理行為に関する準委任契約にとどまらず、仕事の完成を目的とした請負契約を積極的に取り入れることで、大規模なITシステムの移行といったマイグレーション案件などについても、ビジネスマッチングサービスのコンペを通じて受注を拡大している。

第2に、新潟県の佐渡島を中心とした地域のIT人材を雇用することで、DX（デジタル変革）需要に対するIT業界の人材不足、奪い合いといった構造的な経営問題に対応している点である。同社の顧客は首都圏を中心とする大手企業、金融機関であり、高単価のプロジェクトの受注を期待できる中で、コスト面でも競合優位性を築いている。さらに、地域社会への貢献をアピールできることで、官民連携による支援やファンドからの投資も複数受けるといった効果も表れている。

第3に、外部環境の変化による追い風を受けている点である。セキュリティ対策の分野は、迅速な情報共有が困難であることから生成AI（人工知能）が効果を発揮しにくく、同社の保守管理サービスへの需要が高まりやすい。同社はこの状況を活かし、セキュリティ関連ナレッジの公開により、検索エンジンからの集客につなげている。また、在宅勤務・リモートワークの普及により、企業がセキュリティ対策レベルを引き上げなければならなくなっていることも同社への需要増につながっている。

業績と見通し

2025/3通期実績は、売上高が前期比0.1%増の311百万円、営業利益が3百万円と前期の▲11百万円から黒字転換。需要増に対して人材対応が追い付かず、ローンチが遅れたこともあり売上高が伸び悩んだものの、制作外注費の削減と業務効率の改善を受けて利益率が改善した。

2026/3通期会社計画は、売上高が前期比28.9%増の401百万円、営業利益が同19.8%増の4百万円。企業のDX投資が拡大する中でセキュリティ事故や個人情報漏洩への社会的関心の高まりが業績への追い風になると見込まれる。生成AIが普及する一方、保守管理分野は生成AIが苦手とすることから、セキュリティ対策のナレッジの増強を進める方針である。

業績推移

(百万円未満切り捨て)

事業年度	2023/3	2024/3	2025/3	2026/3F
売上高(百万円)	211	311	311	401
経常利益(百万円)	3	6	22	12
当期利益(百万円)	1	4	15	8
EPS(円)	5.31	15.95	58.18	32.11
PER(倍)	461.39	153.61	42.11	76.30
BPS(円)	175.11	350.75	408.93	-
PBR(倍)	13.99	6.99	5.99	-
配当(円)	0.00	0.00	0.00	0.00
配当利回り(%)	0.00	0.00	0.00	0.00

(※) 2025/6/28付で普通株式1株を200株とする株式分割を実施したが、EPS、BPS、配当などの1株当たり指標は、前後の比較のため、株式分割による発行済株式数の増加が2023/3期の期首にあった前提で計算し直している。

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)



配当予想(円) 0.00 (会社予想)
株価(円) 2,450 2025/10/10(終値)

会社概要

2012年4月にWebサイト制作サービスを事業目的として新潟県佐渡市に同社を設立。その後、2017年4月にセキュアなWebサイト制作サービス、およびセキュリティ保守管理サービスを開始した。

地域のIT人材が、地元で自分の目指す生活を送りながら、企業・組織のサイバーセキュリティ強化に貢献していくことを会社経営の基本方針としている。

社名は「地域にtane(種)を植える」ことに由来する。

多くの上場企業、金融機関をはじめとする大手企業から直接受注し、佐渡島を中心とする各事業所にて、業務を実施している。

2025年10月10日、TOKYO PRO Marketに新規上場した。

同社が事業展開する「セキュアなWeb制作・保守事業」は以下の通りである。

「セキュアなWebサイト制作サービス」は、セキュリティ対策が施された、Webサイト制作、CMS(コンテンツ・マネジメント・システム)カスタマイズ、クラウドサーバー実装などを行う。

同社の開発部が担当し、主に請負契約で提供する。

「セキュリティ保守管理サービス」は、Webサイト、CMS、プラグイン、ライブラリ、ミドルウェア、OSのアップデート、クラウドサーバーの設定・運用、WAF(Webアプリケーション・ファイアウォール)、ISD(不正侵入検知システム)、IPS(不正侵入防止システム)の設定・運用、インシデント発生時の調査、原因の切り分け、対応などを行う。

同社の制作・運営部が担当し、主に準委任契約で提供する。

企業データ

主要株主(2025/9/5) (%)
1 榎 崇斗 72.56
2 榎 珠縁 6.65
3 金子 佳史 5.29
(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 4 番 2 号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として本レポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、本レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則(平 14.1.25)」に基づく表示>

1. フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. フィリップ証券は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第 102 条の規定または福岡証券取引所の定める「特例」第 102 条の規定に基づき、発行会社の担当 J-Adviser または F-Adviser、あるいはその両方に就任する旨の契約を締結いたしております。また、フィリップ証券は、東京証券取引所の定める「特例」第 135 条または福岡証券取引所の定める「特例」第 135 条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っています。